

# 平成 27 年人口動態統計調査結果の概要

— 厚生労働省公表資料より —

大阪府総務部統計課 情報分析グループ

《 詳細は厚生労働省ホームページに掲載しています。 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei15/index.html> 》

平成 28 年 9 月 8 日に、平成 27 年人口動態統計（確定数）の結果が、厚生労働省から公表されました。その中から、全国分、大阪府分の概要を紹介します。

## 1 人口動態統計調査について

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的として実施されている「人口動態統計調査」は、「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により市区町村に届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を調査対象としています。市区町村から保健所、都道府県を經由して、厚生労働省でデータをとりまとめています。

## 2 結果の概要（平成 27 年 1 月～12 月）

### （1）出生数

全国の出生数（総数）は（※）100 万 5,677 人で、前年の 100 万 3,539 人より 2,138 人増加しました。

出生数（総数）のうち、男は 51 万 5,533 人で、前年より 19 人減少、女は 49 万 225 人で、前年より 2,219 人増加しました。

大阪府の出生数（総数）は 7 万 596 人で、前年の 6 万 9,968 人より 628 人増加しました。

出生数（総数）のうち、男は 3 万 5,936 人で、前年より 149 人増加、女は 3 万 4,660 人で、前年より 479 人増加しました。

また、都道府県別にみると、東京都の 11 万 3,194 人が最も多く、次いで神奈川県が 7 万 3,475 人、大阪府の順となっており、鳥取県の 4,624 人が最も少なくなっています。

（※）掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合があります。

### （2）死亡数

全国の死亡数（総数）は、129 万 444 人で、前年の 127 万 3,004 人より 1 万 7,440 人増加しました。

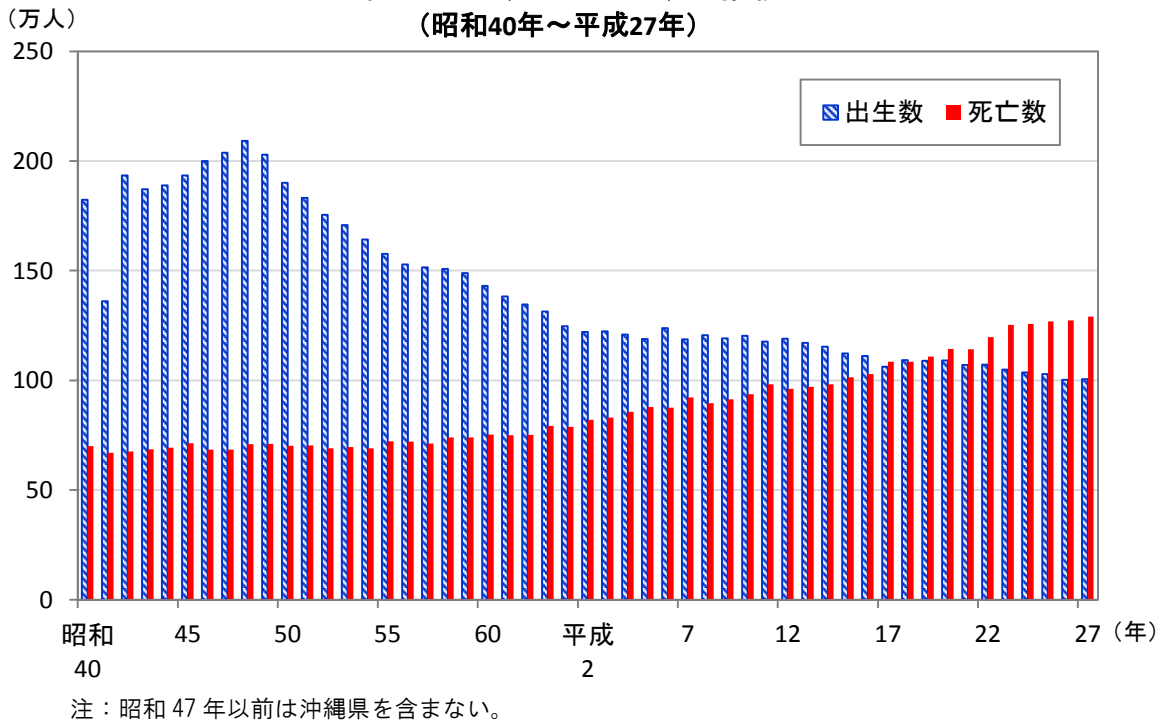
死亡数（総数）のうち、男は 66 万 6,707 人で、前年より 6,373 人増加、女は 62 万 3,737 人で、前年より 1 万 1,067 人増加しました。

大阪府の死亡数（総数）は、8 万 3,577 人で、前年の 8 万 1,653 人より 1,924 人増加しました。

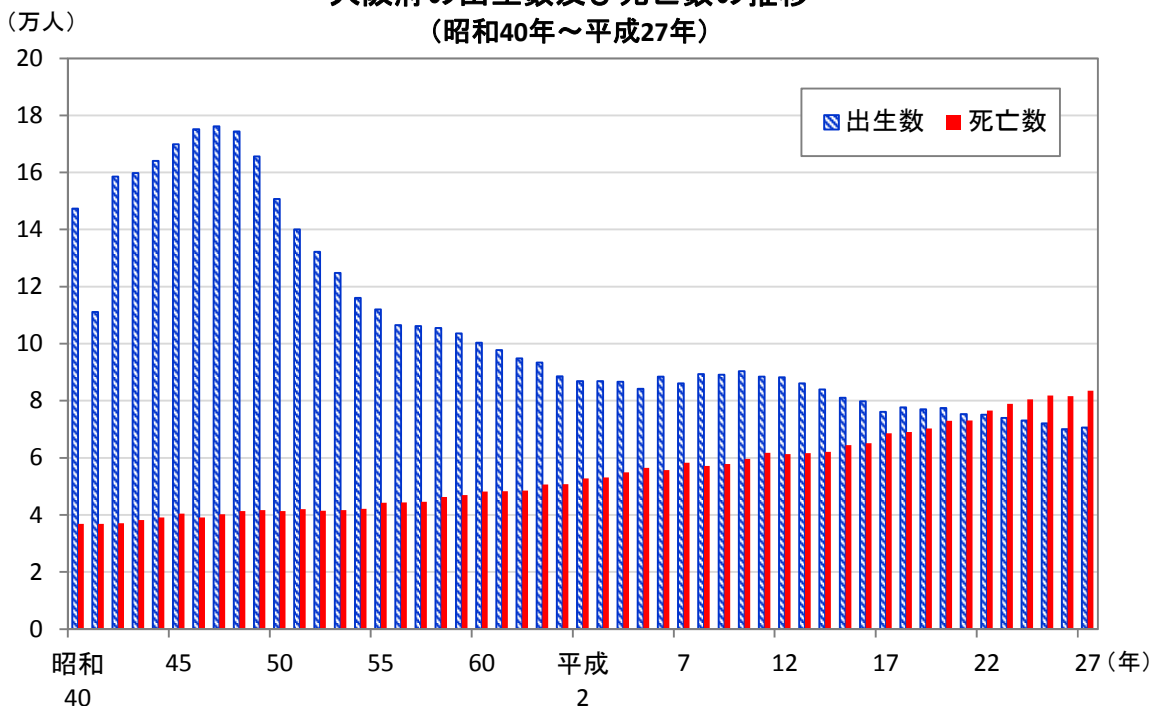
死亡数（総数）のうち、男は 4 万 4,779 人で、前年より 996 人増加、女は 3 万 8,798 人で、928 人増加しました。

また都道府県別順位にみると、東京都の 11 万 1,673 人が最も多く、次いで大阪府、神奈川県が 7 万 5,762 人の順となっており、鳥取県の 7,271 人が最も少なくなっています。

全国の出生数及び死亡数の推移  
(昭和40年～平成27年)



大阪府の出生数及び死亡数の推移  
(昭和40年～平成27年)



(3) 婚姻件数

全国の婚姻件数は63万5,156組で、前年の64万3,749組より8,593組減少しました。

大阪府の婚姻件数は4万6,689組で、前年の4万6,934組より245組減少しました。

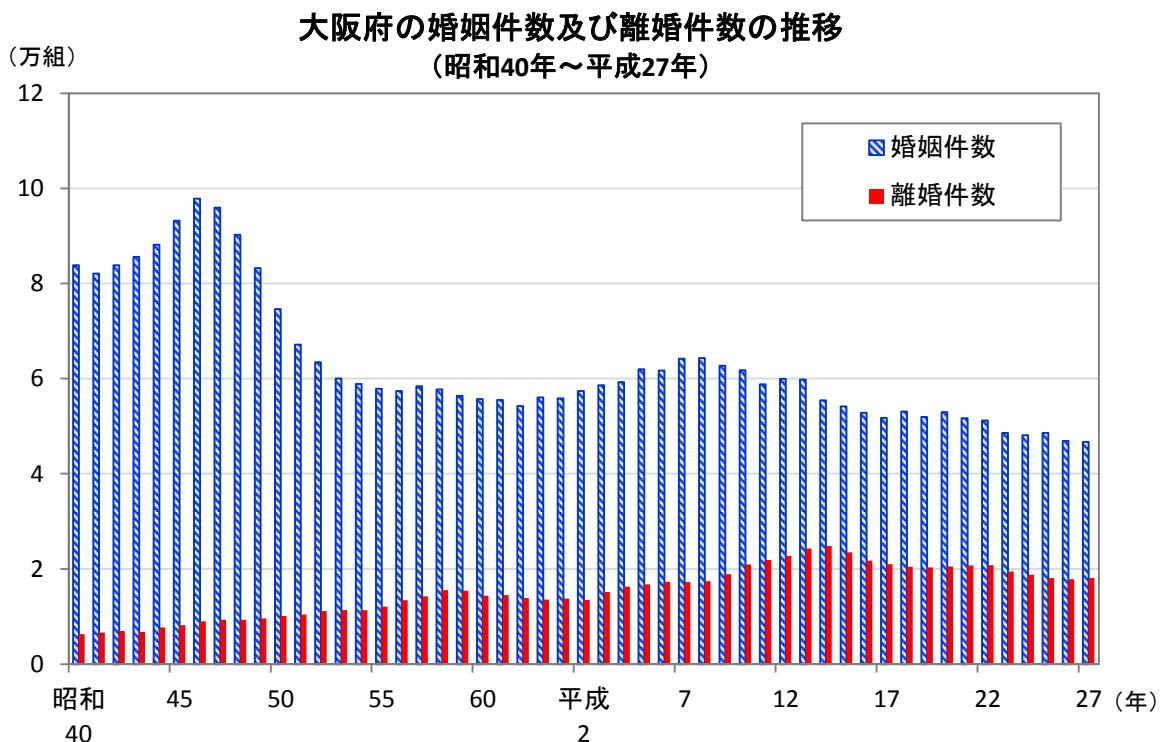
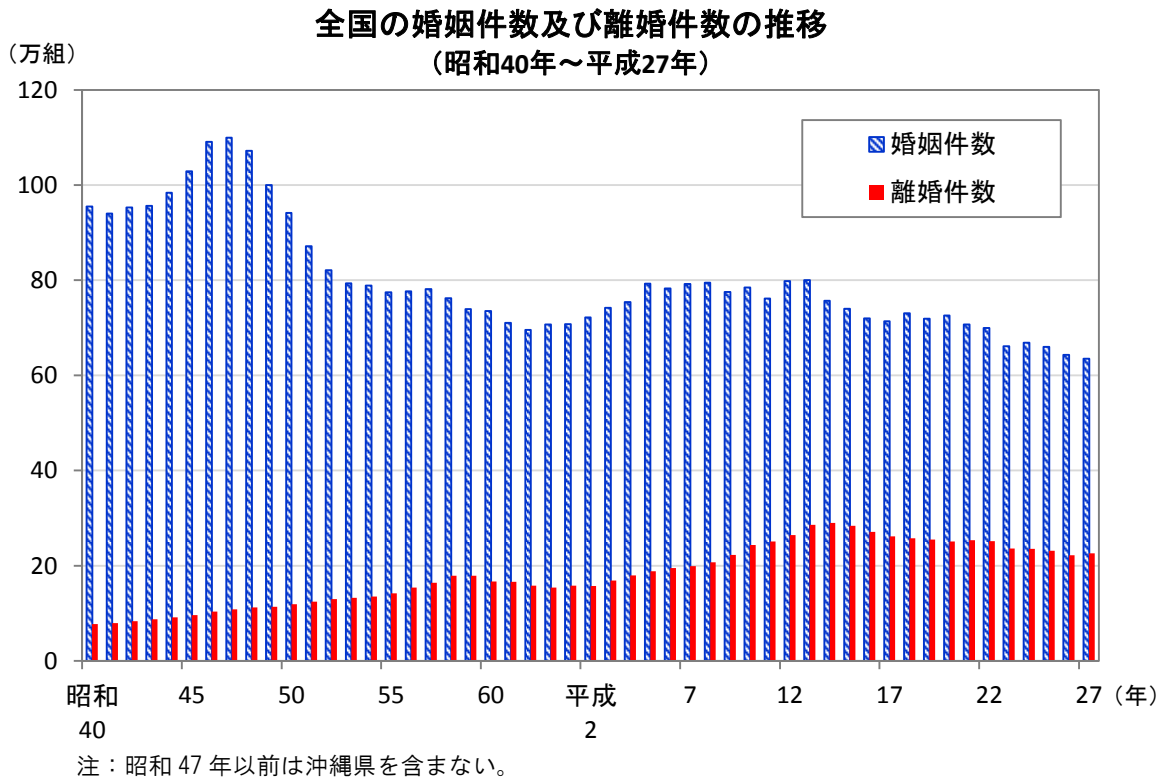
また、都道府県別にみると、東京都が8万7,167組と最も多く、次いで神奈川県が4万8,263組、大阪府の順となっており、鳥取県の2,681組が最も少なくなっています。

#### (4) 離婚件数

全国の離婚件数は22万6,215組で、前年の22万2,107組より4,108組増加しました。

大阪府の離婚件数は1万8,101組で、前年の1万7,834組より267組増加しました。

また、都道府県別にみると、東京都が2万4,135組と最も多く、次いで大阪府、神奈川県が1万6,234組の順となっており、鳥取県の993組が最も少なくなっています。



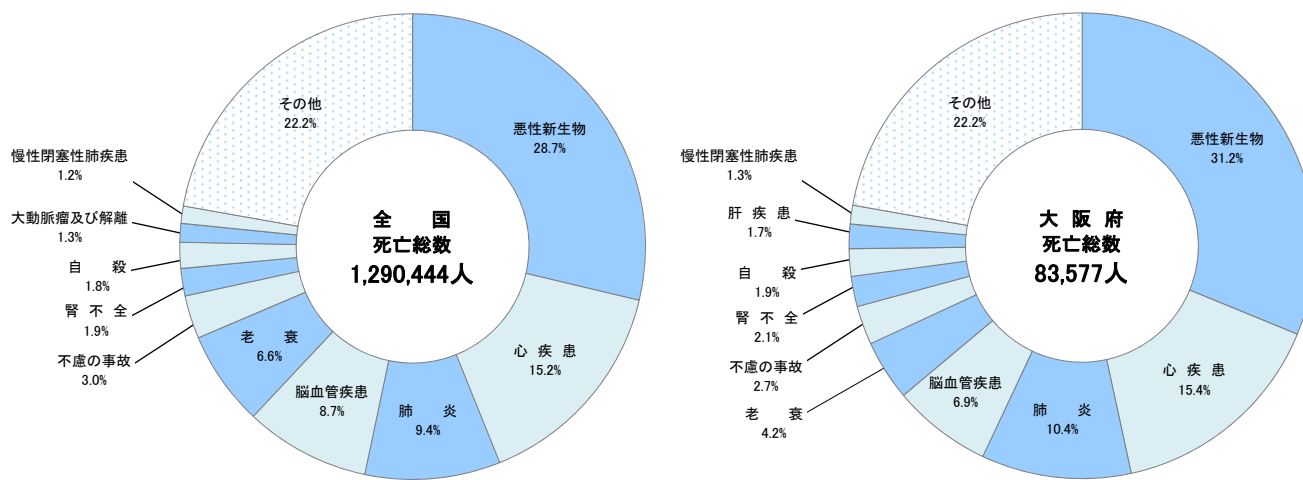
## (5) 死因

全国の死亡数を死因順位別にみると、「悪性新生物（※）」が最も多く、死亡総数の28.7%を占めています。次いで、「心疾患（高血圧を除く）」が15.2%、「肺炎」が9.4%となっています。

大阪府の死亡数を死因順位別にみると、「悪性新生物」が31.2%と最も多く、次いで、「心疾患（高血圧を除く）」が15.4%、「肺炎」が10.4%となっています。

（※）悪性腫瘍のこと。細胞が何らかの原因で変異して増殖を続け、周囲の正常な組織を破壊する腫瘍。がんや肉腫など。

全国及び大阪府の主な死因別死亡数の割合（平成27年）



## (6) 各統計表の都道府県別順位

人口動態総覧，都道府県（21大都市再掲）別より、主な項目から順位別（上位5位、下位5位）に表しました。

出生数(総数) (単位:人)			死亡数(総数) (単位:人)			婚姻件数 (単位:組)			離婚件数 (単位:組)		
1位	東京	113,194	1位	東京	111,673	1位	東京	87,167	1位	東京	24,135
2位	神奈川	73,475	2位	大阪	83,577	2位	神奈川	48,263	2位	大阪	18,101
3位	大阪	70,596	3位	神奈川	75,762	3位	大阪	46,689	3位	神奈川	16,234
4位	愛知	65,615	4位	愛知	64,060	4位	愛知	41,054	4位	愛知	13,102
5位	埼玉	56,077	5位	埼玉	62,565	5位	埼玉	34,757	5位	埼玉	12,667
43位	秋田	5,861	43位	佐賀	9,702	43位	福井	3,481	43位	佐賀	1,354
44位	徳島	5,586	44位	山梨	9,636	44位	徳島	3,229	44位	徳島	1,211
45位	島根	5,551	45位	島根	9,604	45位	高知	3,057	45位	福井	1,194
46位	高知	5,052	46位	福井	8,971	46位	島根	2,931	46位	島根	1,022
47位	鳥取	4,624	47位	鳥取	7,271	47位	鳥取	2,681	47位	鳥取	993

注：都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所によります。